

平成24年(2012年)7月発行

# いんふおめーしょん information

(「くにたちのとしょかん」通号113号)

くにたち中央図書館

〒186-0003 国立市富士見台 2-34

☎042-576-0161

くにたち北市民プラザ図書館

〒186-0001 国立市北 3-1-1

☎042-580-7220

<https://www.library-kunitachi.jp>

写真で知ろう

## 少し昔のくにたちはどんなまち？

ご存知の方も多いと思いますが、国立市は大正末期の「国立大学町開発」、そして、第二次大戦後、昭和20年代末に谷保村から国立町へとなるころ、さらに40年代初めの富士見台団地建設のころに大きな変化を経験してきました。江戸時代以降、大学町開発の後も、国立市史下巻に掲載されている表によれば、「まち」の人口増加は緩やかなものでした。しかし、戦後は急激な人口増加により、村から町へ、そしてさらに多摩ニュータウン開発と同時期の富士見台団地建設後の40年代初めに「国立市」が誕生します。いま、くにたち郷土文化館では、**夏季企画展「富士見台団地ができたころ」**—写真で見る“くにたち”のまちづくり—が開催されています。

わたしたちのまち「くにたち」が町から市になった頃のことを知っていますか。

谷保のくにたち郷土文化館では、国立富士見台団地ができる、昭和40年ごろのまちのようすを写した写真展が開かれています。高度経済成長期の都市化の波で、くにたちは大きな変化の中にあったことを、一枚の写真は語ってくれます。少し昔のくにたちには、

どんな風景があったのか、そして時代の移り変わりで得たもの、失ったものは何だったのか、懐かしさとともに、さまざまなことが思い出されます。ぜひ郷土文化館に足をお運びください。



\*郷土文化館の写真展は下記の日程で開催中です。

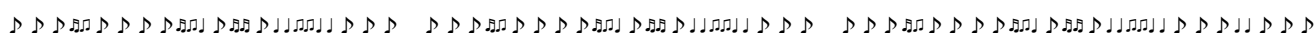
期間：8月6日(月)まで ただし7月26日(木)は休館

時間：午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで)

展示されている写真は「市報くにたち」掲載のため、広報担当が撮影したものです。50年近い時を経た今、当時の写真はいまや「歴史の証人」ともいえるものです。郷土館では、現在この写真資料のほかにも、かつて図書館が所蔵・保管しておりました、大学町開発関係等の現代資料も保存しており、出版物掲載等のために借用依頼がしばしばあるところです。近い将来、これら「国立市」に関する資料情報を一元管理する方向性が確認されています。

◇図書館所蔵「むかし」を知る写真集

- \* 多摩東京移管百周年記念 写真集目で見ると多摩の一世紀 (財) 東京市町村自治調査会
- \* 目で見ると国分寺・国立・小金井・小平の100年 郷土出版社
- \* 保存版 国分寺・国立今昔写真帳 郷土出版社



今月のレファレンス

質問	回答
若くして死んだ人のリストが欲しい(スピーチなどの題材。夭折した著名人が何歳で亡くなったかが知りたい)	一般書 280[伝記]、参考図書などでは年齢が一覧できるような資料は見当たらなかった。児童書[28]のあたりから年表が載っていて線の長短で判別できそうなものを紹介→貸出 インターネットの[Wikipedia]で“夭折した著名人一覧(30歳以下)”を見ることもできる。 ※その後『年齢の話題事典』(東京堂出版)を購入
1941年～1943年頃の時刻表が見たい	中央図書館 3階 02/W4 に昭和15年(1940)10月、17年11月、19年5月の時刻表が所蔵あり(貸出可)。 ※時刻表は古いものは“汽車時間表”“時間表”など名称が変更されていますが、検索は“時刻表”でヒットします。

調べごとなどはお気軽に図書館職員におたずねください。



**お知らせ 夏のお楽しみ会などなど**

**※中央館 市民涼みの広場「図書館納涼かみしばい」**

夏の暑い日差しを避けて、図書館でかみしばいを楽しみませんか。大人の方もお子さんと一緒に楽しみください。

日時 7月30日(月)・8月27日(月) いずれも午後3時～4時 2階お話し室

**※北プラザ図書館 夏休み紙工作 自分だけのペットを作ろう**

日時 8月20日(月)午後1時30分～4時 北市民プラザ第1・第2会議室※

**※分室**

南分室 8月22日(水)午後3時30分～

人形劇「そらまめくとめだかのこ」ほか 出演 二小おはなしの会

谷保東分室 8月29日(水)午後2時30分～ 「スライムをつくろう」

すべて「無料」でご参加いただけます。お問い合わせは中央図書館まで。